

OPEN CAMPUS 2024

高崎健康福祉大学「小論文」対策講座

東進ハイスクール講師 宮下善紀

【1】200字の文章を極める！

——「要約文」作成から「パラグラフ（段落）」構成へ

最初に「200字要約文」作成のプロセスから講義を始めます。「要約」の課題は、社会福祉学科など一部の学科で出題されます。しかし「200字にまとめる」というノウハウは、**すべての論述の基本となる非常に有効な技術**ですから、どの学科を受ける人も前向きに習得を目指してくださいね。

たとえば、「1000字の文章を、200字に要約せよ」といった課題の場合、どこから手を付ければいいのでしょうか？ 本文全体をまんべんなく1/5に圧縮！……なんてことが、簡単にできるなら苦労はしません。それでは、最も楽ちんな要約文作成の手順を見ていきましょう。

①まずは、課題文を「正しく」理解する。

課題文の重要ポイントに線を引き、**筆者は何を主張しているのか**、そして、この課題では**どんなことをまとめなければならないのか**、「要点」をきちんと押さえましょう。

②本文から、絶対に外せない「4つの内容」を選ぶ。

論文を書く場合、「1文。」=「50字」を基準に考えていきます。つまり「200字の要約文」では、たったの「4文。」、すなわち「4つの内容」しか書けないということになります。

本文から《絶対に外せない4つの内容（a/b/c/d）》を選びましょう。なお、4番目の「d=むすび」を先に確定すると、文章全体が安定します。

③流れをイメージしながら、「50字×4」にまとめる。

選んだ「4つの内容（a/b/c/d）」を、それぞれ約50字ずつでまとめていけば、自動的に200字の要約文が完成します。各パーツの容量に応じて、たとえば [(a)=50字/(b)=40字/(c)=70字/(d)=40字] といった感じで文字数を調整してください。

また「a→b→c→d」の流れをイメージすると、全体が滑らかにまとまります。

チャレンジ課題①

『浦島太郎』のストーリーを、200字以内で要約しなさい。

昔むかしあるところに、浦島太郎という名の若い漁師が、母親と二人で暮らしていました。ある日のこと、太郎が浜を歩いていると、子供たちが集まって、一匹の亀をいじめて遊んでいました。太郎は亀を可哀そうに思い、持っていたお金を子供たちに与え、亀を海へ逃がしてやりました。

それから何日か経って、太郎が海で釣りをしていると、一匹の亀が泳いで近づいてきました。その亀は、先日命を助けてもらったお礼に、海の底にある竜宮城へ招待したいと言いました。太郎はぜひ行ってみたいと思い、亀の背中にまたがりました。亀はしばらく海面を進むと、海底に向かって一気に潜りました。そしてあっという間に、立派な赤い門のある竜宮城に到着しました。奥へ進んでいくと、美しい乙姫様が出迎えてくれました。浦島太郎は大いに歓待され、タイやヒラメの舞いや踊りを見ながらたくさんのご馳走を食べ、とても贅沢な時間を過ごしました。

そんな楽しい毎日が流れて、いつのまにか三年間が経過していました。太郎は一人残してきた母親のことが気がかりとなり、乙姫様にそろそろ故郷へ帰りたいと申し出ました。乙姫様はたいそう残念がりましたが、太郎の思いを理解して、地上へ送り出すことを決めました。別れ際に乙姫様は「決して開けてはなりません」と戒めながら、玉手箱を土産に持たせてくれました。そして太郎は来た時と同じように亀の背中にまたがると、あっという間に故郷の海岸へと戻って行きました。

地上に戻ってきた太郎ですが、そこはなぜか以前の故郷とは違って見えるように見えました。歩き回ってみても、誰一人知っている者がおりませんし、自分の家があった場所には草が生い茂り、母親の姿も見当たりません。出会った人に尋ねても、誰も自分や母親のことを知らないと言います。いろいろ調べていくうちに、あれから何と、七百年もの歳月が経過していたことが分かりました。

がっくりと肩を落とし、海岸でしゃがみ込んでいた太郎は、玉手箱のことを思い出しました。開けてはいけないと言われていたのですが、もしかすると、元の世界に戻る手掛かりが入っているかもしれないと考え、思い切ってふたを開けてみました。すると箱の中から白い煙がモクモクと出てきて、太郎はたちまち白髪で白髭のお爺さんになってしまいました。おしまい。(947字)

【解答例】昔むかし浦島太郎は、命を助けた亀から、そのお礼として海の底にある龍宮城へと招待された。乙姫様からの大歓迎を受け、美しい舞いや沢山のご馳走に囲まれた楽しい日々を、三年間も過ごしてしまう。玉手箱を土産に地上に戻ると、なぜか家も母も存在せず、既に七百年が経過していることを知らされて絶望する。乙姫様から開封を禁じられていた玉手箱を開けると、中から白い煙が出てきて、太郎は白いひげのお爺さんになってしまった。(200字)

【2】「小論文」って何やねん？

——「作文」と「小論文」って、どう違うの？

「小論文」とは、与えられた課題について、自分の考えを論理的に《主張》する文章です。たとえば「アイスが食べたい」というのは、ただの「気持ち」であって、《主張》ではありません。「タバコのポイ捨ては良くない」……これでもまだ「意見」であって《主張》には至っていません。しかしここに、「自分たちが暮らす街が汚れてしまうから」という「理由・根拠」を付けることで、ようやく《主張》のレベルに到達します。それでは「タバコのポイ捨ては良くない」を少しずつ掘り下げ、カッコイイ《主張》を作ってみましょう。

「タバコのポイ捨ては良くない！！」

《なぜ良くないの？》

→ 「自分たちが暮らす街が汚れてしまうから」

「他の人たちも気軽に捨てるようになり、街はどんどん汚れていく」

《街が汚れたら、なぜ良くないの？》

→ 「街が汚いと、人間の心がルーズになり、治安まで悪くなる可能性がある」

《では、どうすれば良い？》

→ 「市民が積極的に清掃し、ポイ捨てしにくい美しい環境を作っていこう」

「ポイ捨てはカッコ悪い行為だという美意識を、住民全員で共有しよう」

このように、単なる「気持ち」や「意見」に対して、その理由や根拠、さらに解決策などを考えどんどん掘り下げていくことが「小論文」の神髄です。

A [自分の気持ち・意見] = 「作文」 △

B [A + 根拠・理由] = 「小論文」 ◎

それではここから、合格レベルの「小論文」を目指して、【内容】【形式】【実践】という3つのアプローチからレクチャーしてまいります。

【3】小論文の「内容」を極める！

——「良い内容」の小論文とは……？

A 「正しい内容」を書け！

→ 課題に対するキミの「理解力」がチェックされる！

「正しい内容」を書くというのは、課題（＝出題者の意図）を正しく理解し、正しく答えるということ、これは小論文の基本です。ここがズレたら大減点は避けられません。課題をきちんと読んで、「私はちゃんと理解できる人間です」ってことをアピールしましょう。

B 「面白い内容」を書け！

→ 課題に対するキミの「発想力」がチェックされる！

「面白い内容」というのは、もちろん途中でギャグをぶち込むことではありません。周りの受験生たちが思いつかないような斬新なアイデア、普段から関心をもってストックしてきた各分野の専門知識や問題意識を見せつけ、採点する先生方を喜ばせてください。

正しい + 面白い = 「正しくて面白い」小論文！？

究極の目標は……やはり「正しくて面白い内容」の小論文です。ここへ辿り着くためには、まず「正しい内容（＝結論A）」から考えることが肝要です。この「軸」がブレると大減点は避けられません。ところが「正しい内容」というのは、得てして「ありきたりでつまらない内容」になりがちです。そもそも、キミが最初に思いついたアイデアなんて、周りの受験生たちも余裕で思いつくはず！そこで、自分が考えた【結論A】に対し「なぜ、Aなのか？」「そもそも、Aってなに？」と自問自答（予想される「意地悪な」反論）を繰り返します。そして【結論A】よりもワンランク深い「正しくて面白い内容＝【結論B】」にまで掘り下げられたら、キミの勝利です！

①まずは「正しい内容」を考える！＝【結論A】



《そもそも、Aってなに？》←自問自答

②「正しくて面白い内容」に掘り下げる！＝【結論B】

チャレンジ課題②

あなたが理想とする「保育士像」を、600字以内で自由に述べなさい。

【結論A】

私は、子ども達の目線に立って考えられる保育士になりたいです。

- そもそも「子ども達の目線」ってなに？
- 「大人の目線」とどう違う？
- これがあったら（なかったら）どうなる？

→ ありきたりでつまらない【結論A】を、
正しくて面白い【結論B】にまで掘り下げてみよう！

→ では……あなたが理想とする「×××像」とは？
自分が目指す未来を掘り下げ、考察してみよう！

【4】小論文の「形式」を極める！

——すいすい！ 楽チン！ 4段落構成！！（800字）

これから紹介する「4段落構成」は、なんと当てはめるだけで自動的に小論文になっちゃうという、超～優れモノ！ 学部・学科によって文字数や形式は異なりますが、まずは王道の「800字」を基準に、使い方を学習していきましょう。

(200字) ○第1段落	序論	《 <u>結論B</u> + 導入》
(200字) ○第2段落	本論①	《具体的事例》
(200字) ○第3段落	本論①	《具体的事例》
(200字) ○第4段落	結論	《 <u>結論B</u> + 将来的展望》

○ 第1段落 序論 《結論B + 導入》

「序論」 = 自分の「主張（結論）」を踏まえ、全体の方向性を示す導入部分。

【例文】

- ① 近年、日本では〇〇〇が大きな問題となっている。
- ② なぜ、このような状況が増えているのであろうか。
- ③ それは、私たちの□□□不足が最大の原因である。
- ④ そのためにも、△△△の改善が急務となってくる。

○ 第2段落 本論① 《具体的事例》

○ 第3段落 本論① 《具体的事例》

「本論」 = 主張（結論）の「根拠」となる内容を、具体的事例（体験談・客観的データ）などを踏まえて詳しく説明する部分。

【例文1】 結論Bの「根拠」 / 具体的な「体験談」

- 私たちはまず、〇〇〇に注目しなければならない。
- なぜならば、現代の社会では□□□だからである。

-
- 私は昨年、山村でのボランティア活動に参加した。
 - その経験で〇〇〇の大切さに気づくことができた。

【例文2】 結論Bの「根拠①」 / 結論Bの「根拠②」

- 第一に、〇〇〇を改善していかなければならない。
- なぜならば、現代の社会では□□□だからである。

-
- 第二に、〇〇〇について見直すことも必要である。
 - その結果、□□□の危険を回避することができる。

【例文3】 結論Bの「根拠」 / 予想される「反論」

- 私たちはまず、〇〇〇に注目しなければならない。
- なぜならば、現代の社会では□□□だからである。

-
- もちろん、場合によっては△△△も必要であろう。
 - しかし、もっとも重要なことは〇〇〇なのである。

○ 第4段落 結論 《結論B + 将来的展望》

「結論」=ここまでの内容を「主張（結論）」につなげ、「将来」を見据えてまとめる。

【例文】

- ① 以上のことから、私は〇〇〇するべきだと考える。
- ② そのためにも、△△△の改善が最重要課題となる。
- ③ 今後、日本はますます□□□を強めていこう。
- ④ そこでは、△△△が大切な役割を担うはずである。

【構成のバリエーション】

- ・「800字」=序論：200／本論①：200／本論②：200／結論：200
- ・「600字」=序論：150／本論：300／結論：150
- ・「400字」=序論+根拠：200／具体的事例+結論：200

チャレンジ課題③

街で「ヘルプマーク」をつけた視覚障がい者を見かけても、自分からは積極的に声を掛けない、という人が多いようです。それについて、あなたはどのように考えますか。800字以内で自由に論じなさい。(60分)

「積極的に声を掛けていくべき！」

→《なぜ、声を掛けるときに戸惑ってしまうのか?》

① 声の掛け方がわからないから。(←でも、それって何で?)

② 断られる(迷惑がられる)のが怖いから。(←でも、それって何で?)

③ では、どうすればいい?

【例文(序論)】

ヘルプマークを付けた視覚障がい者を見かけても、気軽に声を掛けられないという人が多いのはなぜだろうか。それは、そもそもどのように接すればいいのか分からないという、本人の「知識不足」が大きな原因であろう。また、余計なお世話だったらこちらが恥をかくといった、自分本位な「認識不足」も大きな問題だ。社会全体で基本マナーを共有し、声を掛けることも断ることも当たり前前にできるような温かさに溢れる社会を目指したい。(200字)

さあ、この続きに「2・本論①」→「3・本論②」→「4・結論」を書いてみよう!

【5】小論文の「実践力」を極める！

[1] 全学部学科共通・時間配分

全学部学科で共通して、試験時間は **60分**、指定文字総数は **800字** に設定されています。

「考える時間」が短いと、掘り下げが不十分で、書いている途中で手が止まってしまいます。逆に「考える時間」が長過ぎると、書きたいことが広がり過ぎて收拾が付かなくなります。

ですから、「考える = 1」：「書く = 2」、すなわち……

「考える時間（20分）」：「書く時間（40分）」

というバランスで挑むのがベストでしょう。（1分間に20字を書くペースです！）

[2] 学部学科別・出題形式（令和6年度）

農学部・生物生産学科

問題1：400字「SDGsに対してどのような貢献ができるのか（自分の考え）」

問題2：400字「食料自給率と日本人の食生活の変化（データ読み取り）」

人間発達学部・子ども教育学科

設問1：200字「子供の生活状況調査（グラフ読み取り）」

設問2：600字「社会的不利な状況の子供たちの支援について（自分の考え）」

健康福祉学部・社会福祉学科

設問1：200字「ヤングケアラーに関する課題文（要約）」

設問2：600字「ヤングケアラーの課題と解決に向けて必要なこと（自分の考え）」

健康福祉学部・医療情報学科

設問1～3：200字／300字／300字「新型コロナウイルス感染症の発生と日本の対応」

「新型コロナ患者に関わる統計」（自分の考え・考察）

健康福祉学部・健康栄養学科

問題1 問1：200字「食習慣改善の意志の割合について（データ読み取り）」

問2：200字「食生活に影響を与える情報と留意点（自分の考え）」

問題2：問1～3：計400字「フレイル（加齢により新進が衰えた、健常と要介護の間に位置する状態）に関する論文（要約・自分の考え）」

保健医療学部・理学療法学科

小論文：800字「安楽死とは何か・安楽死を希望する患者とどう接するか（自分の考え）」

保健医療学部・看護学科

計算問題：8問（データ読み取り）

小論文：800字「眼の健康を守るために必要な対策や工夫について（自分の考え）」

[3] 「データ読み取り型」小論文対策

高崎健康福祉大学の推薦小論文は、学部学科によって形式が様々ですが、ここでは、特に苦手意識を持つ人が多い「データ読み取り型」小論文攻略のコツをまとめていきたいと思います

①正しく読み取り、大胆に掘り下げよう！

とにかく、データ・グラフ・図表を「正しく」読み取ることが、最優先の課題となります。出題者は、キミたちに「まったく新しい事実」を発見してもらいたいのではありません。ただ、「あらかじめ想定している事実（＝メッセージ）」に、ちゃんと気付いてほしいわけです。データの数値や変化に込められた「メッセージ」を、言葉で紡ぎ出してください。

②「増加・減少」「数値の違い・変化」「全体での割合」に着目！

データ・グラフでチェックすべきは、以下の三点です。第一に「数値の増加（最大値）・減少（最小値）」に注目すること。第二に「二つの数値の違い・変化のポイント」を把握すること。第三に「全体の中での割合」を確認すること。例えば、お笑い芸人A・B・Cの中ではAがダントツの一番人気だとしても、国民全体の5%にしか知られていないとすれば、まだまだ「売れている」とは言えません。全体を眺める視点も忘れないように注意しましょう。

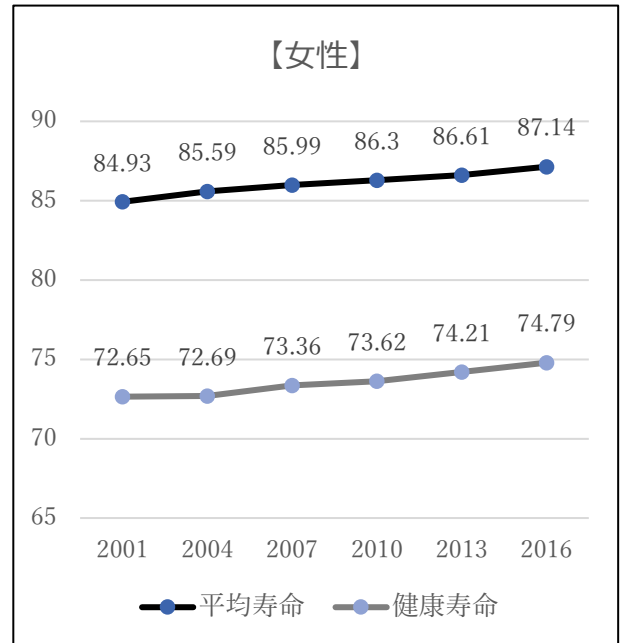
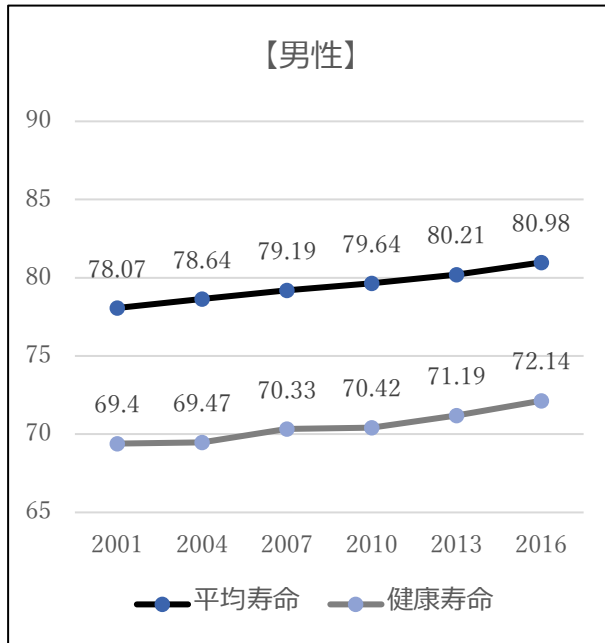
③どのグラフから、何を読み取ったのかを明記する！

これは《グラフ・図表》取り扱いの基本作法です。「全体的に増加しているように見える」などと大雑把にまとめるのではなく、「グラフ①より、〇〇ということが分かる。」「AはXXXに対して、Bは△△△である。以上が、グラフ①から読み取れる事実である。」というふうに、グラフ・図表と記述の対応関係を、必ず明記してください。

チャレンジ課題④

図①②を読み取り、考えたことをそれぞれ300字以内で書きなさい。

【図①／わが国の平均寿命と健康寿命の差】



図①／「わが国の平均寿命と健康寿命の差」について…

→ 《女性の「健康ではない期間」が長いのはなぜか？》

= 「生活習慣」の問題？

「定期健診」の問題？

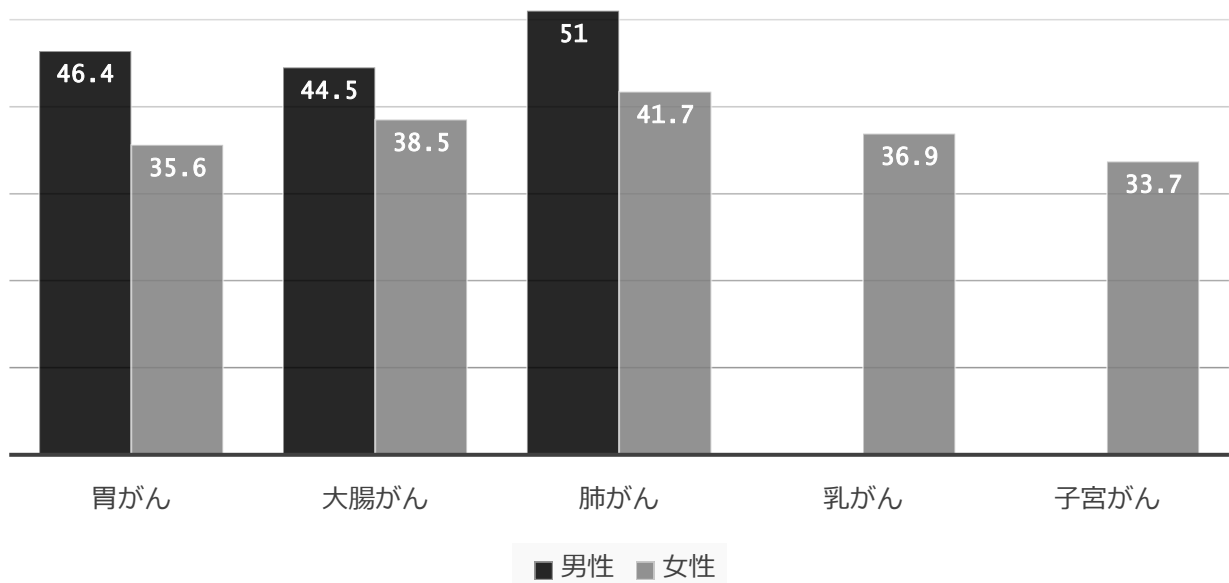
「下半身・体幹の筋量」の問題？

→ 《「健康寿命」を延ばすことは、なぜ大切なのか？》

= 「個人の生活の質の低下を防ぐため」

「医療費などの社会的負担を軽減するため」

【図②／男女別がん検診受診率（40～69歳）】



図②／「男女別がん検診受診率（40～69歳）」について…

→ 《男性に比べて、女性のがん検診率が低いのはなぜか？》

= 「企業正社員の受診率が高く、パートや家事労働者の受診率が低い」？
「女性特有のがんもあり、受診への意識が分散化している」？

→ 《がん検診受診を受けるべき理由は？》

= 「がんは早期発見・早期治療が最重要である」
「自覚症状が出てからでは、手遅れであることが多い」
「早期発見であれば治療費も安く済む」

[4] 本番までに準備すべきこと

最後は「知識」のお話です。高崎健康福祉大学の推薦入試小論文では、各学部・学科の専門的なテーマについて出題されます。たとえば「ヤングケアラー」という言葉を知らなくても、文章が書けないわけではありません。しかし、**普段から関心を持っている人の方が、より深くて質の高い小論文を、しかも短時間で仕上げられるに違いありません。**直近の10年間、全国の保健医療系の大学・学部・学科で出題された「用語」を30コ集めてみました。さあ、皆さんはいくつ知っていますか？ また、これらの用語をもとに、**どんなことが語れますか？**

《保健医療系・小論文頻出用語30》

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| ①アフターコロナ | ②アドボカシー | ③医師・看護師不足 |
| ④院内感染 | ⑤インフォームド・コンセント | ⑥EBM |
| ⑦AIと医療 | ⑧環境ホルモン | ⑨キュアとケア |
| ⑩QOL | ⑩健康寿命 | ⑫再生医療/iPS細胞 |
| ⑬サルコペニア/フレイル | ⑭少子高齢化 | ⑮生活習慣病 |
| ⑯セカンド・オピニオン | ⑰ソーシャルワーカー | ⑱尊厳死・安楽死 |
| ⑲代替医療 | ⑳ターミナルケア/ホスピス | ㉑地域医療 |
| ㉒チーム医療 | ㉓着床前診断/受精卵診断 | ㉔認知症 |
| ㉕ノーマライゼーション | ㉖プライマリ・ケア | ㉗ヘルプマーク |
| ㉘薬剤耐性 | ㉙ヤングケアラー | ㉚老老介護 |

①「用語」を暗記！

=図書館や書店で専門書を手に入れ、まずは専門用語を暗記していこう！

②「テーマ」で理解！

=「高齢化社会」「チーム医療」といったテーマごとに知識を整理しよう！

③「問題意識」を育む！

=新聞やインターネットで専門分野に関するニュースやコラムを集めよう！